

効果検証シート

実施年度	交付金の種類	事業名			担当室
平成29年度	市単	市民総活躍による『なばり元気のモトづくり』プロジェクト ～人材を磨き、地域資源を生かし、もの・仕事をつくり、名張を元気にする～			商工経済室／医療福祉総務室／子ども家庭室／学校教育室
事業実績額(円)		47,952,500			
総合戦略での位置づけ	プロジェクト名	①元気創造プロジェクト／②若者定住促進プロジェクト			
	基本的な方向	①就業機会の確保と雇用の創出／地域産業を担う人材の育成／地域産品、地域資源を活用した“名張ブランド”の創出 ②移住・定住の促進と支援／子育てしやすい労働環境整備／安心・安全な子育て環境づくり			
	具体的な施策	①なばり元気のモトづくり～人材を磨き、地域資源を生かし、もの・仕事をつくり、名張を元気にする～ ②産み育てるにやさしいまち“なばり”の実現／「なばりブランド」としての“ひと”づくり～魅力ある教育の推進～			
事業期間		平成28年度～平成30年度			
事業の目的		<p>(1)次世代を担う若者の移住定住支援プロジェクト</p> <p>①創業、異業種連携、多角経営化による新たな事業創出を喚起・支援する体制の構築、近畿大学工業高等専門学校との連携による人材育成など新たな雇用創出、郷土産品に対する支援、幼少期からのふるさと学習の実施により、歴史・文化を通して子ども達の郷土愛を育み、本市に愛着を持てるひとづくりを目指します。</p> <p>②子育て中の女性の就労相談、セミナー開催等による就労意欲の喚起、企業訪問による啓発活動や女性の労働条件と企業のマッチング、子育てに配慮した職場づくりの支援、放課後児童クラブの充実等女性が働きやすい環境づくりの取組を行います。</p> <p>(2)地域を生かした雇用創出プロジェクト</p> <p>農産品の直売所の運営を起点に加工業者、レストラン等との農商工連携を推進し、地元農産品の地元での流通量の増加、地産地消など“食”を通じた雇用創出を図ります。</p> <p>(3)まちじゅう元気プロジェクト</p> <p>一生涯を通じた切れ目ない健康づくりを推進し、すべての市民が健康で生きがいを持って活躍できる。“生涯現役のまちづくり”を目指した環境づくりに取り組みます。</p>			
全事業期間における本年の位置づけ		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て女性に対する就労意欲を喚起するセミナー等の実施とともに、子育て女性を受け入れる事業所への企業訪問、協力依頼を実施します。 ・創業支援体制及び民産学官の連携強化を図りながら、新たな事業進出、多角経営化など新たなチャレンジを促す事業環境の整備を進めます。 ・創業希望者に対して、実習棟を企画し、創業へのイメージを現実なものにし、創業への第1歩を踏み出せる事業を展開します。 ・農産品生産者、加工事業所、レストラン等の連携を図ることで、農商工連携による新たなビジネスモデルの構築を図ります。 			
重要業績評価指標(KPI)	指標	基準値(H28.3)	目標値(H30.3)	実績値(事業終了時)	
	交付対象事業の取組による雇用創出数	—	65件	67件	
	とれたて名張交流館の売上金額	118,596千円	(増分)8,404千円	▲18,911千円	
	プロジェクト協力事業所数	—	35事業所	100事業所	
平成29年度の取組概要		<ul style="list-style-type: none"> ・女性の働きやすい環境づくりを目指し、子育て支援員の養成等の事業(研修会、託児実習)を実施するとともに、子育てをはじめ様々な活動を行うボランティアに係る総合的な情報発信、意欲ある高齢者や女性等の社会参加につながる活動への支援に取り組みました。 ・子育て世帯の仕事と家庭の両立支援を図るため、桔梗が丘小学校区放課後児童クラブの施設増設を行いました。 ・『ふるさと学習「なばり学」』編集委員会等を開催し、学習資料集上巻を完成させ、小学1年生～4年生に学習資料集を配布しました。 ・未来へつなぐ学びの支援事業として、学習環境として学校図書館を活用し、夏季休業中に開放を行うなどの取組を行いました。 ・名張市産業チャレンジ支援協議会が本格稼働し、起業支援や人材育成、農商工支援、雇用機会の確保等地域内での積極的な雇用創出と産業活動を支援しました。 ・小中学校における生活習慣アンケート調査に取り組み、出前授業の実施につなげ、また、まちじゅう元気!!!リーダーのパワーアップ研修を行い、ボディチェック、食育などに関する講座を実施しました。そのほか、「ケンコー!マイレージ」を本格稼働させるなど、一生涯を通じた切れ目ない健康づくりの推進に取り組みました。 			
外部有識者による効果検証	検証の時期	平成30年7月			
	検証の体制	名張市地域活力創生会議による			
	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の施策について、住民満足度の数値をみていると効果が出てきているように思う。これによって子育て・教育しやすいまちとして定着し、転入の促進にもつながると思う。 ・市民意識調査の「ずっと住み続けたい」「住んでいる地域行事に参加している」の数値でポイントが下がっているのは、転入者が定着していないのではないかと。 ・進学の際に転出をせざるを得ないが、その後就職にあたって戻ってきてくれればよいが、若者が離れる気持ちを止めるよう就職先や農業などの取組が必要なのではないかと。 ・全国から就学しなくなるような質の良い学校や幼稚園づくりができれば、移住数の増加にもつながるのではないかと。 ・ふるさと学習「なばり学」において、名張に関心を持ち、名張に愛着をもってもらうように幼少期の頃から名張を身近に感じ刷り込んでいく取組が必要なのではないかと。 ・名張のことを知らない子育て世代のお父さんお母さんにも「なばり学」をみていただきたい。 			
	結果の公表	平成30年11月以降 ホームページで公表予定			
市議会による効果検証の有無		有 ・ 無 (時期 : 平成30年11月予定)			
総合評価		KPI指標の一つである「とれたて名張交流館の売上額」については、天候不順による野菜の収穫不足や価格の高騰による売り上げ減などが要因となって目標値に達しなかったものの、その他の指標については目標を大きく上回った。また、財源確保の難しさや、特に短期間で自立化するためには特定の人材に頼る部分が多く、組織としての活動の難しさが課題としてはあるものの、自主財源による事業の自立を図るよう推進しており、地方創生に相当程度効果があると評価する。			
今後の方針	方針	事業の継続			
	理由	計画どおり事業を継続する			